

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 青少年の社会的自立の促進
-----	----------------

施策主管課	子ども未来課	総合計画記載頁	119ページ
-------	--------	---------	--------

1 施策の位置付け

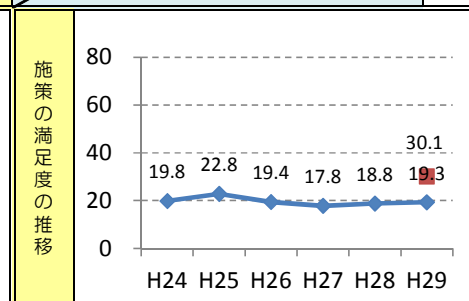
政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	12 健全な青少年を育成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	青少年が、さまざまな人とのかわりの中で、成長段階に応じた社会性を身につけ、心身ともに健康に成長し、社会の一員として充実した生活を送っています。
------	------------------------	----------------	----------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	青少年が社会の中での責任や役割を自覚し、主体的に活動しています。
------	----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	地域などでの社会的な活動に取り組んでいる青年(20歳代)の割合(%)	単年度目標値	14.2%	20.0%	25.7%	31.5%	37.2%			43.0%	C	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	19.8%	22.8%	19.4%	
現状値(H24実績)			14.2%	実績値	14.2%	13.3%	9.8%	12.9%	10.2%	9.5%	目標値(H29)				30.1%	前年度からの増減		3.0pt	-3.4pt
指標2		単年度目標値								③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)								B	
		現状値		実績値															
指標3		単年度目標値								【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標4		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標5		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標6		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標7		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標8		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標9		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															
指標10		単年度目標値									指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値		実績値															

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について	★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
	★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$
	取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況	



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年2月に、国において子ども・若者育成支援推進法に基づく「子供・若者育成推進大綱」が定められ、特に困難を有する子ども・若者については、抱えている問題が複合性・複雑性を有していることから、個々の状況を踏まえた支援の充実が必要とされている。 子ども・若者が抱える複雑な問題に対応する必要があることから、本市においては、平成28年8月に「子ども・若者支援地域協議会」を設置し、地域や関係団体との連携を強化してきた。 	市民満足度	「キャリア教育推進事業」や「青少年自立支援対策事業」などの事業に継続的に取り組んでいるが、市民満足度については、横ばいである。	総合評価	65点
施策指標	「地域などでの社会的な活動に取り組んでいる青年(20歳代)の割合」については、青少年の社会参加の促進や健全育成活動の推進により、若者は地域での活動に対する関心はあるものの、地域におけるつながりの希薄化などにより、地域活動への参加につながっていない結果となっているため、今後は、若者のニーズやライフスタイルの変化に応じた展開が必要と考えられる。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	青少年活動拠点創出事業の推進	○★	青少年の自主性・社会性の醸成	青少年, 青少年活動団体, 企業等	・青少年が実践する自主活動や, 青少年活動団体等が開催する青少年のためのイベントへの支援	計画どおり	42	H23		青少年の活動成果発表機会の充実や交流促進を図るため, 市HPに加え, 青少年育成市民会議や青少年団体連絡協議会等へも事業説明・周知依頼を行い, 活動発表やイベントを実施したい青少年や青少年のための事業を実施する企業・団体に対して事業の周知を行う。
2	キャリア教育推進事業(再掲)	★	児童生徒の望ましい勤労観・職業観の形成	市立中学校2年生の生徒全員(宮っ子チャレンジウイーク)	社会体験学習運営の支援(事業所による生徒受け入れ・保険・交付金等)	計画どおり	5,628	H14		社会体験学習(宮っ子チャレンジウイーク)の充実を図るとともに, 指導資料や本市ゆかりの職業人へのインタビュー等を収めたDVDなどを活用することにより, 小中学校9年間を通して系統的に取り組む「宮・未来キャリア教育」を今後も推進していく。
3	宇都宮ジュニア未来議会の開催(再掲)	★	青少年の市民としての自覚やまちづくりへの関心の醸成及び自主性・社会性の醸成	中学生, 高校生	・中高生による模擬議会の開催	計画どおり	96	H17		ジュニア未来議会への参加を契機に, 青少年の市民としての自覚やまちづくりへの関心を高める。更に, 同世代・異世代の参加者の繋がりを活かした自主活動の促進に繋げるための仕組みづくりを行うほか, 行政の様々な事業への参加につなげるなど, 青少年が次代のリーダーとして成長していけるよう支援する。
4	青少年の居場所づくり事業の推進(再掲)	○★	青少年のコミュニティ形成や自主性・社会性の醸成	小学生, 中学生, 高校生	・青少年の体験・交流の場の提供 ・主体的な活動ができる場の提供 ・異世代交流の機会の提供	計画どおり	987	H19		すべての子どもたちが健全に成長できるよう, 小・中・高校生に必要とされる居場所について再整理し, 本市が推進すべき居場所づくりの方向性を明確にしたうえで, 「青少年の居場所」の機能強化等について検討する。
5	宇都宮市青少年団体連絡協議会の運営支援		団体活動を通じた青少年の自主性・社会性の醸成	青少年活動団体, 青少年	・青少年団体活動の推進	計画どおり	150	S47		青少年の社会性・自主性の醸成を図るため, 地域活動を行うリーダーの育成などを通じて, 青少年団体連絡協議会の運営を支援する。
6	宇都宮市青少年育成市民会議の運営支援(再掲)		青少年健全育成活動の市民総ぐるみでの推進	子どもとその保護者, 地域, 学校, 企業等	・地区青少年育成会や青少年育成団体相互の連絡調整 ・市民総ぐるみでの健全育成活動の推進	計画どおり	3,805	H12		市民総ぐるみで健全育成活動を推進するため, 定期的な会議などの場における各地域の活動事例等の意見交換や情報交換を通じて, 地域活動の活性化を図り, 地区育成会や青少年育成団体で組織する宇都宮市青少年育成市民会議の運営を支援する。
7	青少年自立支援対策事業費	○★	相談機能の充実などによる, 青少年の社会的自立の促進	自立に困難を抱える青少年及び家族	・電話・来所・訪問・出張による相談 ・個別支援計画による自立の支援	計画どおり	220	H20		今後も, 子ども・若者支援地域協議会構成機関団体との連携を図り, 相談者の掘起し(地区民児協定例会への訪問), ひきこもりの未然防止(教育センター相談の引継ぎ), アウトリーチ(保健師等との訪問)の充実強化に努め, 自立に困難を抱える青少年に対する早期かつ切れ目のない支援を行っていく。

4 今後の施策の取組方針

課題	今後の方向性	
	方向性	
<p>◆「青少年への勤労観や職業観の醸成及びリーダーの育成等」については, 地域などでの社会的な活動に取り組んでいる青年(20歳代)の割合が, 近年, 減少傾向であることから, 青少年が自己肯定感を育み, 社会との関わりを自覚し, 主体的に活動できるよう, 青少年の社会参加機会や体験の場の機会の充実, 将来の地域づくりを担う青少年リーダーの育成などを関係機関や地域団体などとの連携により, 行っていく必要がある。</p> <p>◆「青少年の居場所づくり」については, 子どもたちが地域において人間関係を広げながら様々な体験を積み重ね, 自主性や社会性を身につけることができるよう, 引き続き, 異世代交流や主体的な活動の場を提供することが必要であるとともに, 子どもの貧困など, 社会環境の変化に対応していく必要がある。</p> <p>◆「青少年の自立支援対策」については, 自立に困難を抱える若者は, さまざまな問題を抱えている傾向があることから, 適切な対応を図るため, 「子ども・若者支援地域協議会」を活用し, ニートやひきこもりなどの若者が自立に向かうことができるよう, 総合的な支援を効果的かつ円滑に実施する必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆より多くの青少年に対して, 勤労観や職業観の醸成を図るため, 社会参加の体験の場である「キャリア教育推進事業」や, リーダーの発掘・育成・活用などを行うため, 市民としての自覚やまちづくりへの関心が高まるよう「宇都宮ジュニア未来議会の開催」などを引き続き推進する。</p> <p>◆「青少年の居場所づくり事業」が, 地域における青少年のコミュニティ形成の充実や自主性・社会性の醸成を図るとともに, ライフスタイルの変化や困難を抱える子どもの顕在化など, 子どもを取り巻く社会環境が変化していることから, 社会環境に対応した事業となるよう検討していく。</p> <p>◆引き続き, ニート・ひきこもりなど自立に困難を抱える若者の社会参加や就労等を促すため, 来所相談が困難な方については, 本人や家族の状況を把握し, きめ細かな相談支援を実施していくとともに, 子ども・若者支援地域協議会を活用し関係機関との連携による総合的な支援の強化など, 引き続き, より効果的な事業を展開していく。</p>	<p>〈主要事業〉</p> <p>◆「青少年活動拠点創出事業の推進」については, 青少年の活動発表の場の創出や交流促進に向け, 青少年団体や企業に対し積極的に事業を周知し, 自主的に活動したい青少年を支援していく。</p> <p>◆「青少年の居場所づくり事業の推進」については, すべての子どもたちが健全に成長できるよう, 小・中・高校生に必要とされる居場所について再整理し, 本市が推進すべき居場所づくりの方向性を明確にしたうえで, 「青少年の居場所」の機能強化等について検討していく。</p> <p>◆「青少年自立支援対策事業費」については, 自立に困難を抱える青少年を早期に相談に繋げるため, 子ども若者支援地域協議会を活用により相談者の掘起し等の充実を図るとともに, 総合的な支援を行う体制を強化し, 効果的な支援を行っていく。</p>
	<p>〈その他個別事業〉</p>	